

平成二十八年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問いで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の問いに答えなさい。

問一 (1)～(4)の――線部の読みを書きなさい。

- (1) 旅行先から帰路につく。
- (2) 風景描写が素晴らしい作品だ。
- (3) 準備運動で大きく体を反らす。
- (4) 新商品の展示会を催す。

問二 (1)～(4)の――線部を漢字で書きなさい。

- (1) 電車がてつきようを渡る。
- (2) 駅の利用者数のとうけいをとる。
- (3) 北海道は観光資源がゆたかだ。
- (4) 湖のほとりで釣り糸をたらす。

問三 ある中学生が読書をしているとき、――線部「筆が立つ」の意味が分からなかったので、国語辞典で調べ、次のようにメモにまとめました。メモにある「筆」と「立つ」を説明していることばをそれぞれ使って、文中における「筆が立つ」の意味を書きなさい。ただし、「筆」については①と②のどちらかの説明、「立つ」については①～③のいずれかの説明を選び、そのことばを使うこと。

「読んでいた本の一部」

彼女は、学生時代文芸部に所属していた。筆が立つと評判だった。

「語句調べのメモ」

ふで【筆】(名)

①文字を書く道具。

②文章を書くこと。

たつ【立つ】(自動・五段)

①縦にまっすぐな状態になる。

②勢いよくある行動をおこす。

③技能が一段とすぐれている。

問四 次のAの文を、内容を変えないように、「弟は」で始まる文に書きかえると、「託した」はどのようなになりますか。Bの文の に当てはまる語を書きなさい。

A 兄は、弟に全国大会出場の夢を託した。

B 弟は、兄から全国大会出場の夢を 。

問五 次の文章を読んで、(1)～(3)に答えなさい。



(1) — 線1「矛盾した感覚」とありますが、筆者が述べている矛盾した感覚とはどのようなことですか、三十五字程度で書きなさい。

(2) — 線2「イネ以外の動植物が……でるような環境」とありますが、筆者が述べているこの環境の具体例を、次のように整理するとき、 ①、②に当てはまる表現を、それぞれ十字程度で書きなさい。

・ 魚が、 ①	ことができるような環境。
・ カモなどの渡り鳥が、 ②	ことができるような環境。

(3) この文章の内容に合うものを、ア～オから二つ選びなさい。

- ア 田んぼは、稲作をおこなわない人びとにとって、身近な自然ではなかった。
イ 田んぼは、イネ以外にも、人に有用な動植物を手に入れられる場所であった。
ウ 田んぼは、人の手が入っていない、ありのままの自然として存在していた。
エ 日本人の多くは、田んぼに入ってくる渡り鳥を、好ましく思っていないかった。
オ 日本人の多くは、田んぼのある風景に自然を感じ、親しみを抱いている。

二

次の問いに答えなさい。

問一 次のA～Dの――線部を漢字に直したとき、「善悪」と熟語の構成が同じになるものをつ選び、その漢字を書きなさい。

「善悪」

- A 約束の時間をげんしゆする。
- B かんだんの差が激しい地域である。
- C ケーキをきんとうに分ける。
- D 富士山のとうちように成功する。

問二 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

- (1) 全国大会で、優秀な成績をあげた吹奏楽部に対して賞状が与えられた。
- (2) 想定外のことが起こった場合は、慌てずに事態の収集を図ることが大切である。

問三 ある中学校の生徒会役員が、学校祭のテーマについて全校生徒の前でプレゼンテーションをすることになりました。次は、全校生徒に提示するスライド(A)と、構成表(B)です。これらを読んで、(1)～(3)に答えなさい。

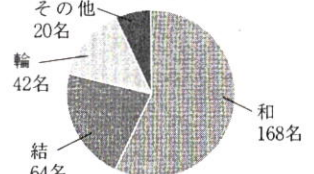
(A) 全校生徒に提示するスライド

1 学校祭のテーマ
今年の学校祭のテーマは

和

に決まりました

2 テーマ選定の根拠



※全校生徒294名のアンケート結果より

3 テーマへの思い

「和」という文字に込めた
思いは

です

4 学校祭の成功に向けて
学校祭で

和

を深めましょう

(B) 構成表

スライド 番号	発表の概要	発表のポイント
	○始めの言葉 〔30秒〕	(聞き手を見ながら話す。)
1	○学校祭のテーマ ・今年の学校祭のテーマを 発表 〔1分〕	・最初にテーマを提示する。 (大きな声で発表する。)
2	○テーマ選定の根拠 ・アンケート結果にもと づいた説明 〔3分〕	・「和」を選んだ生徒の人数とそ の人数が全校生徒数に占める 割合を中心に、テーマ選定の 根拠を分かりやすく説明する。 (聞き手がスライドに注目するよ うに、ゆっくり話す。)
3	○テーマへの思い ・「和」選定の補足説明 ・「和」の文字に込めた思 いの共有 〔3分〕	・他の文字を選んだ人の思いも 「和」には含まれていること を説明する。 ・学校祭を通して、各クラスが 一体となって頑張っている という思いを伝える。 (言葉に強弱をつけたり、間の取 り方に注意して話す。)
4	○学校祭の成功に向けて ・学校祭の成功への協力の 呼びかけ ・生徒全員でスライドの 言葉の復唱 〔1分30秒〕	・思い出に残る行事になるよ うに呼びかける。 (生徒全員で元気よく声を合わせ て復唱するように、働きかける。)
	○終わりの言葉 ・各クラスの生徒が教室 に戻り、具体的に話し 合う内容を説明 〔1分〕	・各クラスにおいて、テーマに 沿った話し合いになるよう促 す。 (聞き手を見ながら話す。)

(1) (A)のスライドについて、生徒会役員同士で相互評価しました。工夫点を述べている文として最も適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア テーマを二度示すことで、少数意見を最優先したことを強調している。

イ テーマ選定の根拠を最初に示すことで、論理的な説明になるようにしている。

ウ アンケートの結果をグラフで示すことで、テーマ選定の根拠を分かりやすくしている。

エ 起承転結の構成を用いて結論を最後に示すことで、発表の趣旨を明確にしている。

(2) (A)のスライドの に入る表現を、(B)の構成表に示した内容から考えて、十五字程度で書きなさい。

(3) 次は、「スライド番号2」を発表するために作った原稿の一部です。(B)の構成表の「発表のポイント」をもとに、 に入る表現を考えて、書きなさい。

【スライド番号2】

次に、テーマ選定の根拠を説明します。アンケートの結果から、

が分かります。

したがって、今年度のテーマを「和」に決定しました。

三

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

問一 — 線1「幸子は絶対に間違っではいけないことを聞かれたと思った」とありますが、

幸子がこのように思った理由として、最も適当なものを、ア、エから選びなさい。

ア 田坂にお婆ちゃんの目の高さを教えることにより、自分が刈り方を失敗した生垣を修復してくれるかもしれないと期待したから。

イ 田坂にお婆ちゃんの背丈のイメージを伝えたら、田坂は完成度の高い仕事をして市村に褒められるに違いないと確信したから。

ウ 田坂にお婆ちゃんの本当の背の高さを知らせることで、以前のような穏やかな表情の田坂に戻ってほしいと願ったから。

エ 田坂にとってお婆ちゃんの目の高さを知することは、職人として納得のいく仕事をするために大事なことだと感じたから。

問二 — 線2「仕上げの鋏を入れたばかりの生垣」とありますが、田坂が木鋏で剪定をする前と後の生垣の様子を、次のようにまとめるとき、①、②に当てはまる表現を、それぞれ文中から十字以内で書き抜きなさい。

木鋏で剪定をする前の生垣	仕上げの鋏を入れたばかりの生垣
生垣は無数の細い枝が①を見 せている。	切口が見えないように整えられ、枝先は 幸子の目の位置を基準として② が異なっている。

問三 — 線3「せわしくなく鳴き続ける鳥」とありますが、これは誰がどのようにしている様子を表していますか。「せわしくなく鳴き続ける鳥」がたとえている内容を明らかにして、三十字程度で書きなさい。

問四 — 線4「寂しさを感じている自分の心に気がついた」とありますが、このとき幸子が感じている、道具に対する特別な気持ちを、「やさしい表情」という語を使い、解答欄に示した表現に続けて、七十字程度で書きなさい。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

鳥、鵜からすにいへるは、いかに鵜殿、御身は果報なるものかな。水の上に身を浮かめて息いひながら、何の苦勞もなく、腹の下なる魚を安々と取りて食し給ふものかな。我等は終日飛アびあるきても食にあふ事少なく、たまたま乾ほしたる魚又は菓子などを見付けても、皆主有りて守りきびしければ、むねをひやして、さふなく取り得る事かたし。此故に食つねに不足して苦し。疲れて羽を息やすめんとして木に止とどまれば、又脚の勞あり。御身を学ウびて水に入りて魚をとらんとすれば、忽たちまちに水喰くふ。あな羨うらやましの鵜殿や。飽あき満みち給ふ食を少し此方こなたへも施し給へかし。吝惜しはきれば、忽たちまちに水喰くふ。あな羨うらやましの鵜殿や。飽あき満みち給ふ食を少し此方こなたへも施し給へかし。吝惜しはき御心かな、といふ。鵜答へていふ、烏殿烏殿、さな思ひ給ひそ。それより見給ふには、水エに浮うかびて何の苦もなく食を得待はつると思ひ給ふべけれど、水の中にて足を働かす事少しも隙ひまなし。其の苦勞大方おほの事にあらず。其の上魚も生ある物なれば、中々心易く取り得る事かたし。

(西川如見「町人袋」による)

(注) 鵜——水鳥の一種。 御身——あなた。 果報なるもの——幸せ者。

菓子——木の実。 むねをひやして——ひやひやして。 さふなく——簡単に。

吝惜御心——けちな考え。 さな思ひ給ひそ——そのように思つてはいけない。

問一 〰〰線ア、エのうち、鵜の動作を表しているものを、一つ選びなさい。

問二 〰〰線「あな羨しの鵜殿や」とありますが、鳥がうらやましいと思つている鵜の様子が、具体的に書かれている一文の、最初の五字を書きなさい。

問三 この文章には続きがあり、最後は、「人の世の有様なぞらへて知るべし」と締めくくられています。この文章の内容から、人が教訓として受けとめるべきことはどのようなことだと言えますか、最も適当なものを、ア、エから選びなさい。

ア 自分の苦勞を嘆くだけではなく、他人も陰で苦勞していることに気付くこと。

イ 自分は一人で生きていると思わず、支えてくれている人たちに感謝すること。

ウ 自分の考えだけで行動せず、他人からの忠告に耳を傾けることが大切なこと。

エ 自分では何も行動せず、他人の助けをあてにしているだけではないということ。

第一部 国語

正 答 表

問 題 番 号		学校裁量問題と 対になる問題														問 題 番 号			
正		答														採 点 基 準			
問 一		問 二		問 三		問 四		問 五		問 六		問 七		問 八		問 九		問 十	
(1)		(2)		(3)		(4)		(1)		(2)		(3)		(4)		(1)		(2)	
きろ	びようしや	そ(らす)	もよお(す)	鉄橋	統計	豊(かだ)	垂(らす)	文章を書く技能が一段とすぐれている。 (正答例)	田んぼは、管理されてきた人為的な空間なのに、自然を感じさせること。 (正答例)	すみかとし、産卵する (正答例)	羽根を休め、冬を越す (正答例)	イ オ	寒暖	積 績 集 拾	ウ (正答例) クラスが一体となって頑張ること (正答例)	「和」を選んだ人数は、百六十八名で一番多く、全校生徒二百九十四名の半数以上を占めていること	エ 無造作に刈られた切口 上と下の枝の切れ方 (正答例)	田坂が、木鉢を無数に鳴らしながら、猛然と生垣を切り続ける様子。 (正答例)	エ しまわれていく道具類を見ると、生垣全体をやさしい表情に変えた木鉢は、単に木や葉を切り落としていたのではなく、それらと一瞬鋭く繋がろうとしていたように思われ、愛着を感じた。
3	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	2	1	1	3	3	3	3
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	㉑
一 「筆」の説明にある「文章を書くこと」と、「立つ」の説明にある「技能が一段とすぐれている」の二つのことばを使い、適切に表現されているものを正答とする。 二 表現の稚拙なもの、不十分なものの、表記上の欠陥があるものについては、各一点を減じる。 三 減点の結果がマイナス点にならないようにする。 問四 「託した」が、受け身で書かれているものを正答とする。 問五(1) 田んぼが、管理された空間なのに、自然を感じさせることが適切に表現されているものを正答とする。 二 字数については、解答欄の枠内で答えるものとし、それを超えるもの、または、極端に少ないものについては、各一点を減じる。 三 その他については、問三の採点基準2、3に準じる。 問五(2) ①は、「すみかとし、産卵する」ことが、②は、「羽根を休め、冬を越す」ことがそれぞれ適切に表現されているものを正答とする。 二 その他については、問五(1)の採点基準2並びに問三の採点基準2、3に準じる。 問三(2) ①「クラスが一体となって頑張る」ことが適切に表現されているものを正答とする。 二 その他については、問五(1)の採点基準2並びに問三の採点基準2、3に準じる。 問三(3) ①「和」を選んだ生徒が一番多く、全校生徒の半数以上を占めていることが適切に表現されているものを正答とする。 二 全校生徒の半数以上を占めていることを欠いた場合は三点を減じる。 三 その他については、問三の採点基準2、3に準じる。 問三 ①「田坂が、木鉢を無数に鳴らしながら、猛然と生垣を切り続ける」ことが適切に表現されているものを正答とする。 二 「(田坂が) 木鉢を無数に鳴らししている」ことを欠いた場合は二点を減じる。 三 その他については、問五(1)の採点基準2並びに問三の採点基準2、3に準じる。 問四 ①生垣全体をやさしい表情に剪定した木鉢であることと、②木鉢が単に木や葉を切り落としたのではなく、それらと一瞬鋭く繋がろうとしたことに気付き愛おしくなったことの二点が、指示された語を使い、適切に表現されているものを正答とし、いずれか一方を欠いた場合は三点を減じる。 二 その他については、問五(1)の採点基準2並びに問三の採点基準2、3に準じる。																			

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。